

練二通信

No. 347

平成 27 年 12 月
練馬第二小学校
校長 大槻 亨

心をひとつに 届けよう、かがやく笑顔のハーモニー

校長 大槻 亨

十一月に実施しました音楽会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただき、子供たちへの惜しみない拍手を送っていただきました。心より感謝申し上げます。子供たちは、休み時間も惜しまずに練習を積み重ねてきました。本番では、その力を十分に発揮できたと思っております。

表題の「心をひとつに 届けよう、かがやく笑顔のハーモニー」は、音楽会のスローガンです。このスローガンのとおり、音楽会当日は子供たちがかがやく笑顔のハーモニーが体育館中に広がりました。

一日目の児童鑑賞日には、全員合唱を行いました。曲名は「音楽のおくりもの」です。会場のスペースの関係で、二日目の保護者鑑賞日にはお聴かせできなかつたのが残念ですが、全校児童が一堂に会して、高らかに歌い上げた歌声は、美しいハーモニーとなって体

育館中に響き渡りました。この合唱には、各学年の担任の代表がピアノ、キーボード、バイオリン、太鼓、カスターネットなどを演奏し、校長である私が指揮をしました。指揮をしながら、歌っている子供たちの顔を見ると、一人一人が笑顔で輝いているのを感じられました。まさに、「かがやく笑顔のハーモニー」を届けることができたのではないかと思います。

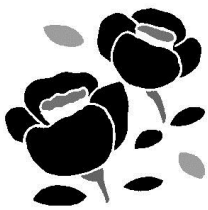
ハーモニーというのは、様々な音の重なりが美しく調和することだと思えます。合唱でいえば、複数の歌声が共鳴することで、ハーモニーが生まれます。合奏でも同じことがいえます。違った種類の楽器の音が共鳴したときに美しいハーモニーが響くのです。仮に自分だけが大きな声を出して歌ったり、周りとのリズムがずれた演奏をしたりしたのでは、美しいハーモニーとはなりません。美しいハーモニーは自

分勝手では生み出せないのです。

音楽会への練習を通して、子供たちは美しいハーモニーを響かせるために、心をひとつに合わせることを学んできました。最初は、ばらばらな演奏や歌声だったのが、心を合わせることで、美しいハーモニーへと変わること学んできたのです。音楽会翌週の児童朝会で私は、「音楽会で作り出した友達とのハーモニーをこれからも大切にしていって、クラスで心をひとつにして、クラスのハーモニーをつくっていきましょう」という話をしました。

十二月四日から十日までは、人権週間となります。人権を尊重するとは、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることです。言い換えれば、様々な個性あふれる人同士が互いの存在を認め合い、ハーモニーを大切にしていこうといえます。

音楽会で学んだハーモニーの大切さをこれからの生活に生かしていくよう、保護者の皆様と協力して指導に努めていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



十二月の行事予定

- 1 (火) 連合音楽鑑賞教室 (六年)
- 2 (水) 午前授業 (教育会二斉研究日) ユニセフ期間 (〜4日)
- 7 (月) 委員会活動
- 8 (火) 避難訓練
- 9 (水) 運動朝会 ALT 来校日
- 12 (土) もちつき大会 (二、三校時公開)
- 13 (日) 練馬区小学校音楽祭
- 14 (月) クラブ活動
- 15 (火) 社会科見学 (四年)
- 16 (水) 音楽朝会 ALT 来校日
- 17 (木) 五時間授業
- 18 (金) 研究発表会
- 21 (月) お話の会 クラブ活動
- 22 (火) お話の会
- 23 (水) 天皇誕生日
- 25 (金) 五時間授業・給食 (終)
- 26 (土) 冬季休業日始

※1月7日(木) 冬季休業日終

8日(金) 給食始・午前授業(二〜四年) 委員会活動(五校時)

★今月の生活目標

・みんなで使うものを大切にしよう。

★週の生活目標

・遊び道具など使ったものの後始末をきちんとする。

・そりじや給食の後始末をきちんとする。



音楽会を終えて

学芸的行事委員会 森口 真規子

音楽会では、たくさんの方に鑑賞いただき、ありがとうございます。どの学年も、練習の成果を十分に発揮することができたと思います。

今年は、世界の音楽をどの学年も取り入れ、多様な音楽に触れる機会をもちました。保護者のアンケートにも「音楽で世界旅行をした気分になった。」とありましたが、子供たちも世界の音楽に興味をもった様子でした。

練習を始めた当初は、自分のパートを覚えることで精一杯だった子供たちも、練習を重ねるにつれ、周りの音を聴き、合わせようという意識が高まってきました。しかし、全員の音を合わせるということの難しさも感じ始め、休み時間などを使って練習に励む子の姿も増えていきました。

本番が近付いて来た頃、他の学年の練習の様子を見合う時間を設けました。上級生の演奏を聴いて、技術の違いだけでなく、音楽に対する姿勢なども学んだようでした。また、お互いの良いところを伝え合うことで、自信をつけた子もいたようです。

そして本番。緊張しながらも、力を出し切ることが出来た子供たちは、達成感にあふれた笑顔を見せてくれました。こ

のように、みんなで気持ちを合わせて演奏することの楽しさや、努力を続けることの大切さなどを感じられた子供たちは、さらに大きく成長したことでしょう。これからも、練二小の歌声がさらに輝いていくよう指導をしていきます。

ユニセフ募金について

特別活動主任 柳井 裕美

今年度もユニセフ期間を実施し、様々な取組をします。十二月二日(水)には、代表委員の児童が、ユニセフ集会を行います。集会では、ユニセフについて説明したり、ユニセフが「いのちをまもる水」を子供たちに届ける活動をしていることを紹介したりする予定です。本校では、水飲栓直結工事が行われ、「水がおいしくなった。」という児童の声も聞かれます。安全な水が飲めない国が多くあることに目を向け、ユニセフ活動を身近なものとしてとらえ、互いに助け合う心を育てていきたいと思えます。

十二月三日(木)と十二月四日(金)の朝の時間に中央昇降口と東昇降口で代表委員の児童による募金活動を行います。また、子供たちは各学級で、ビデオ教材やリーフレットからユニセフの活動や様々な国の状況について学びます。

日本の未来を担う練二小の子供たちにとって、平和や国際協力について考える一つの機会になるとよいと願っています。ご協力をお願い致します。

校内研究について

研究主任 小倉 哲治

今年度本校では、昨年度に引き続き「主体的に学ぶ児童の育成」もつと知りたい、考えたい、伝えたい」というテーマで研究に取り組んでいます。練二小の児童の「素直」「感受性が豊か」「真面目」などといった良いところをさらに伸ばし、児童の「もつと知りたい、考えたい、伝えたい」という意欲を引き出すことができるように、研究してきました。

今月の十八日には二年間の研究の成果を発表します。低学年が生活、中学年が国語、高学年が社会の授業を公開します。保護者の皆さまにも、児童の主体的な学びを参観していただけたら幸いです。また、研究発表会当日にお手伝いしていただける保護者の方々ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

冬休みを迎えるにあたって

生活指導主任 神谷 文子
子供たちが楽しみにしている冬休み

が近づいています。短い休みではありますが、新しい年を迎えるにあたり、次のことについてご家庭で話し合い、安全に、また有意義に過ごしていただきたいと思えます。

①家族の一員としての自覚

家事を手伝う、お正月等の挨拶をしっかりとするなど、年末年始の計画をいっしょに話し合います。

②規則正しい生活

早寝・早起きをしっかりとさせ、健康に過ごせるよう、ご家庭の約束をつくりましょう。

③お金の使い方

お年玉など高額なお金を手にすることが多い時期です。恐喝などの犯罪や、お金のトラブルに巻き込まれないよう、また計画的な使い方ができるよう気を付けさせましょう。

④交通安全

年末年始は、特に交通事故にご注意ください。特に自転車の飛び出しによる事故には、十分気を付けさせてください。

⑤不審者等の被害の防止

区内でも、不審者の情報が寄せられています。また連れ去りによる事件も心配される場所です。暗くなったら、子供だけの外出は控えさせるなど、犯罪被害防止にご配慮ください。外出時には、防犯ブザーを着用させてください。

後日配付の「冬休みの生活について」も参照し、楽しい冬休みを過ごせるようにご協力をお願いします。